

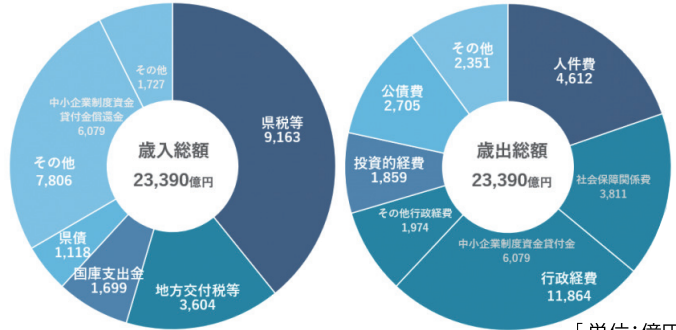


令和6年度 兵庫県当初予算を可決しました

令和6年度当初予算案は、総額で4兆3018億円(前年度当初比プラス0.6%、236億円増)、このうち一般会計は2兆3390億円(同マイナス0.9%、207億円減)。斎藤知事は「若者・Z世代応援予算」と銘打って若者への支援に重点を置いています。ただ、今年度示された政策のうち、県立大学の無償化など、限られた財源を有効に活用するという意味では、継続的な議論や検討の必要性を感じています。

二元代表制の一翼を担う議会として、皆が心豊かに暮らせる社会を目指すとともに、次世代により良い社会を引き継げる兵庫県を実現していきます。

令和6年度当初予算 一般会計 歳入・歳出の概要



[単位:億円]

着実に政策を実現しています！

▶ 西宮市内の客引き行為等の対策について

兵庫県の客引き行為等の防止に関する条例の禁止地区に西宮市も加えるべく、市民、市議会とも連携しながら取り組み、**禁止地区として西宮市(西宮北口駅・甲子園口駅周辺)も指定される見込みとなりました**(令和6年3月時点)。

地域の皆様とともに、文教都市西宮市にふさわしいまちづくりに、これからも取り組みます。

▶ ノーリフティングの推進

介護人材確保のためには労働環境の改善や効率化が重要であるため、ノーリフティングの推進に取り組んでいます。**令和5年度からは、かねてから提言していた「ひょうごノーリフティングケアモデル施設・優良モデル施設」認定制度がスタートしました**。これらの取り組みを標準化し、介護する人、される人双方にとって、よりよい環境を目指します。

▶ 交通安全対策の推進

横断歩道やセンターラインなど、消えかかっている道路の白線について多くの声をいただいていたが、「**交通事故防止緊急対策**」として、**通常事業費に上乗せし、県下約10,000か所の白線引き直しの予算を可決しました**。引き続き安心・安全な交通環境づくりに取り組んでまいります。

▶ 人口減少対策と若者支援の双方をかなえる方策について

これまで県内企業のかかえる深刻な人手不足対策として行ってきた、**若手社員への奨学金返済支援制度**を、若者支援として活用することを求め、**令和6年度4月から対象年齢や補助期間を大幅に拡大することとなりました**。企業側の事務負担軽減などにより、さらに参加企業を増やし、人口減少対策・若者支援に取り組んでまいります。